

「登山指導者研修会」

★事業の概要★

事業のねらい

1. 学校をはじめとする青少年の集団登山を安全に実施するために、必要な知識と技術を身につける。
2. 登山をとおして、自然の恩恵に気づかせるための指導法について理解する。

期 日

平成26年6月21日（土）～ 6月22日（日）

会 場

国立大雪青少年交流の家・十勝岳

対 象 者

登山を含む野外活動において指導及び指導補助に携わる者
 （教職員、社会教育関係者、青少年教育施設職員、子ども会育成者、
 またはそれらを目指す者で18歳以上）

参加者数：参加募集人数

29名（全日程参加27名、部分参加2名）：20名

講 師

内 藤 美佐雄 氏（北海道山岳連盟常任理事）
 五十嵐 順 一 氏（美瑛山岳会）
 小 倉 博 昭 氏（美瑛・白金ネイチャークラブ ネイチャーガイド）
 古 川 孝 氏 氏（大雪消防組合美瑛消防署 救急係主任）
 国立大雪青少年交流の家職員

日 程

		6:00	6:30	13:00	13:30	14:30	15:00	16:00	17:30	18:30	20:00	22:00
6/21 (土)				受 付	開 会 式 セ ツ シ ョ ン	登山の基礎知識			夕 食	道 具 の 使 い 方	入 浴 休 憩	
6/22 (日)	起 床	朝 食	野外実習(途中、昼食を含む) A: 登山コース 望岳台～十勝岳頂上往復 B: 自然観察コース 原生林望岳台コース、望岳台			成 果 と 課 題 閉 会 式	解 散					

★プログラム紹介★



研修① 登山の基礎知識

「登山の留意点・安全な登山」

講師の体験談をもとに、安全な集団登山についての留意点について学んだ。



研修② 登山の基礎知識

「起きやすい怪我と応急処置」

登山時に発生しやすいケガに対する応急手当の方法について学んだ。



研修③ 登山の基礎知識

「山歩きの基礎知識」

学習指導要領と自然観察との関連及び集団登山指導の基本スキルについて学んだ。



研修④ 道具の使い方

携帯トイレの使い方や下山対応に使えるザックの活用方法を学んだ。また、講師が持参する登山道具について説明を受けた。



実習 A:登山コース/B:自然観察コース

2つのコースに分かれ、集団登山を安全に進める留意点や自然観察のポイントについて体験的に学んだ。



協議 研修の成果と課題の把握

全日程を踏まえ、安全な登山指導と登山をとらえて自然の魅力伝える指導について、学びの交流を行った。

企画・運営のポイント

参加者が学びたいことを選択できるように、実習では、集団登山の安全運営を学ぶ「登山コース」と登山の魅力伝える「自然観察コース」を設定した。「道具の使い方」の時間には、参加者が分かれて3つのブースを移動する方法をとり、少人数でより深い学びが得られるような環境づくりに配慮した。

事業を終えて(成果と課題)

登山指導の初心者にターゲットをしぼって企画や広報を行ったため、参加者のニーズに合致したプログラムを提供することができた。しかし、複数のコース設定を行ったことで、運営者の人員配置が課題となった。

今後の方向性

実習コースの設定については、安全面と研修の充実を考えながら、講師や運営者の適切な人員の配置について検討する必要がある。教員を目指す教育大学生に対して重点的に広報を行う。